



福井フェミニクスまつり民踊大会の様子(8月2日)

INDEX	
主な内容	
1	9月定例会
2	委員会視察報告
3	主な議案、委員会審査
4～9	一般質問
9～10	予算特別委員会
10～11	議案等の審議結果
11	賛否が分かれた議案一覧
12	議会日誌、編集後記

9月 定例会

平成26年度福井市一般会計補正予算を可決

9月定例会は、9月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成26年度福井市一般会計補正予算をはじめとする各会計補正予算、「福井市にぎわい交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について」など市長提出の議案33件、報告6件を審議した結果、議案は27件を原案どおり可決、2件に同意、4件を継続審査とし、報告については1件を承認、5件を受理しました。

市長提出の議案のうち、追加提出された平成25年度各会計歳入歳出決算の認定等の議案4件については、審査のため決算特別委員会を設置し、継続審査として閉会中に審査することに決定しました。

また、請願・陳情については、今回新たに提出された請願2件と陳情1件、6月定例会において継続審査となっていた陳情1件を審議した結果、請願2件を不採択、陳情1件を採択、1件を継続審査とすることに決定しました。

さらに、議員提出議案として、「地方財政の充実・強化を求める意見書について」、「参議院選挙制度改革に対する意見書について」及び「フロンティア博物館への平和モニユメントの設置に反対する決議について」の3件を審議した結果、いずれも原案どおり可決し、意見書については関係機関に提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を22人の議員が行い、24日、予定した日程を全部終え閉会しました。

常任委員会 市内視察報告

7月に市内視察を実施しましたので、その内容について報告します。
今回は教育民生委員会、建設委員会がそれぞれ関係施設を視察しました。

教育民生委員会

7月8日(火) 至民中学校



授業の様子



意見交換の様子

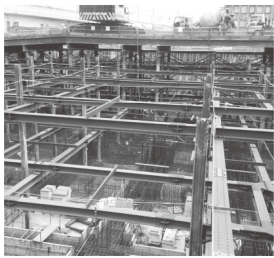
至民中学校において、授業や部活動の様子を視察するとともに、現在の状況について聞き取り、意見交換を行いました。

同校では、教科センター方式、異学年型クラスター制を導入しています。また、学校生活の充実や学力向上のため、当初70分だった授業時間を50分に変更するなど、教育環境の整備に取り組んできており、生徒の元気な挨拶や授業、部活動に励む様子から、これらの成果が伺えました。

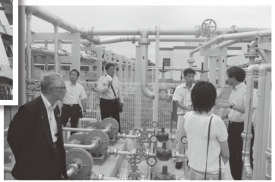
今後とも、学校教育目標としている「豊かな心で共に生きる自己啓発力の高い生徒の育成」に向け、生徒が安心、信頼できる学校生活と更なる学力の向上に取り組んでいただけることを期待します。

建設委員会

7月9日(水) 福井駅西口再開発ビル建設現場、消化ガス発電設備



西口再開発ビル建設現場



消化ガス発電設備

西口再開発ビル建設現場では、一番下の基礎部分、地下2階床の配筋、コンクリート打ちが行われていました。写真で見える鉄骨は地下の四方を囲っている壁を支えているもので、基礎部分ができ上がり本当の柱が立ち上がると撤去され、来年3月過ぎには高層部がどんどんでき上がっていくのが見えてくるそうです。

日野川浄化センターの消化ガス発電設備は、今まで半分以上焼却処分されていた下水の処理過程で発生するガスを利用して発電します。この設備を利用することで、浄化センター内で使用する電気料金の削減と二酸化炭素排出量の削減が図られています。

常任委員会 県外視察

10月に県外の先進地を視察しました。各常任委員会の視察先は次のとおりです。
視察内容の詳細は次号(平成27年2月10日発行)で報告します。

委員会名	開催日	視察先
総務委員会	10月22日(水)~23日(木)	公共施設マネジメントについて(神奈川県相模原市) 防災対策の取り組みについて(神奈川県小田原市)
建設委員会	10月20日(月)~21日(火)	道路整備事業について(山口県宇部市) コミュニティタクシー事業について(山口県山口市)
教育民生委員会	10月23日(木)~24日(金)	福祉総合相談について(静岡県富士宮市) ごみ減量と資源化の取り組みについて(静岡県沼津市)
経済企業委員会	10月23日(木)~24日(金)	企業誘致について(鳥取県鳥取市) 地域資源を活用した観光まちづくりについて(鳥取県倉吉市)

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10～11頁に掲載しています。

平成26年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で2億2,150万4,000円、競争特別会計で2,356万7,000円、集落排水特別会計で1,500万円を増額するもので、補正後の予算額は、全会計で2,158億4,455万7,000円となります。

○一般会計補正予算

平成27年4月から小学校6年生までの放課後児童を受け入れるため児童クラブの新設、拡張を行う児童クラブ設置事業などに2億2,150万4,000円を計上するものです。

条例

○福井市体育施設条例の一部改正について

藤岡グラウンドを天然芝サッカーコートとして、旧中藤小学校体育館を屋内運動場として整備することにより、両施設の使用料を定めるため、条例の一部改正を行うものです。

人事案件

教育委員会委員

任期満了となる委員を補充するため、木村敦子氏を任命することに同意しました。

公平委員会委員

任期満了となる委員を補充するため金井亨氏を選任することに同意しました。

人権擁護委員

平成26年12月31日をもって任期満了となる杉本速夫氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案（議員提出議案）

意見書の提出

○地方財政の充実・強化を求める意見書について

○参議院選挙制度改革に対する意見書について

決議

○フラトン市博物館への平和モニュメントの設置に反対する決議について

決算特別委員会を設置

平成25年度各会計決算等を審査する委員会を設置しました。
委員構成（◎は委員長、○は副委員長）

- | | |
|--------|--------|
| ◎青木 幹雄 | ○片矢 修一 |
| 西村 公子 | 宮崎 弥磨 |
| 見谷 喜代三 | 野嶋 祐記 |
| 田村 勝則 | 下畑 健二 |
| 泉 和弥 | 中村 綾菜 |

委員会審査

各特別委員会、各常任委員等の主要な旨を紹介いたします。（日程順に掲載）

公共交通・まちづくり対策特別委員会

《屋根つき広場と西口再開発ビル内の多目的ホール（にぎわい交流施設）》

問 屋根つき広場と西口再開発ビル内の多目的ホールは、近隣にアオッサの呉民ホールと響のホールという類似施設がある中、どのくらいの利用率を想定しているのか。

答 指定管理者が行う自主事業を除いて、屋根つき広場の利用率を想定している。なお、屋根つき広場については、参考としている富山市のグラントプラザでは自主事業を合わせると83%という高い利用率となっており、本市でも指定管理者に対し自主事業を多く求めることにより、同程度の水準を目指す。

産業活性化対策特別委員会

《人・農地プラン》

問 集落における人・農地プランの作成を進める中で、耕作放棄地の対策にはどのように取り組んでいくのか。

答 農地は地域によって守られるとの考えから、プランの作成にあたり、耕作放棄地解消の取り組みを働きかけている。

建設委員会

《にぎわい交流施設》

問 施設を利用しやすい割引制度を設定してはどうか。

答 条例は利用料金の上限を定めるものであり、料金設定はこの範囲内で指定管理者が行うことになるが、割引制度等の詳細については市も協議に加わり、検討していきたい。

経済企業委員会

《集落排水処理施設》

問 集落排水処理施設の建設が、機能上問題はないのか。

答 処理人口の減少は極端ではなく、流入流出量を把握し適正に維持管理している。

教育民生委員会

《放課後児童健全育成事業》

問 子ども・子育て支援新制度への移行によって、放課後児童健全育成事業所に勤務する放課後児童支援員の資格要件が変わるなど、雇用に影響はないのか。

答 放課後児童支援員には都道府県が行う研修を受講する義務が生じるが、5年間の経過措置があるため、直ちに影響することはない。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、22人の議員が一般質問を行いました。
 ※議員名の前の番号は質問順、()内は党派名、質問内容の掲載は大項目のみです。(敬称略)

<p>② 奥島 光晴 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 土砂災害について 2 福井市の花について 3 足羽山公園の安全対策について 	<p>③ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 土砂災害に対する危機管理について 2 放課後児童クラブについて 	<p>④ 吉田 琴一 (政友会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 原子力災害対策について 2 土砂災害対策について 3 子ども・子育て支援新制度について 4 放課後子ども総合プランについて 5 都市計画道路事業の進捗状況と今後の整備計画について
<p>⑤ 下畑 健二 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共施設等総合管理計画について 2 地方中枢拠点都市圏構想への対応について 3 福井市の人口減少対策について 	<p>⑥ 島川 由美子 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子ども・子育て支援新制度施行について 2 産後ケア事業について 3 命をつなぐAEDの活用推進について 	<p>⑦ 西本 恵一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの貧困対策について 2 スクールソーシャルワーカーについて 3 福井市職員おもてなし向上運動について 4 危機管理について
<p>⑧ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子ども・子育て支援新制度及び保育行政について 2 公園等のあり方について 3 コンベンション機能の強化について 	<p>⑨ 青木 幹雄 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 越前海岸周辺の観光と保全について 2 人・農地プランについて 3 仲間外れに対する学校の対応について 4 スポーツ推進について 	<p>⑩ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 少子化対策について 2 若い世代への魅力ある雇用創出による人口減少対策について 3 保育のあり方について 4 子どもが犠牲になる事件への対策について
<p>⑪ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新たな広域連携について 2 地域鉄道の整備について 3 医療の充実と医療費について 	<p>⑫ 田中 義乃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 清潔で美しいまちづくりについて 2 中心市街地の活性化について 3 歴史的建造物の保全・活用について 	<p>⑬ 藤田 諭 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防災対応について 2 清水プラント3を拠点とするバス路線再編社会実験後の対応について
<p>⑭ 後藤 裕幸 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治体消滅への対策について 2 子ども・子育て支援新制度について 3 職員の公務上の連絡方法について 	<p>⑮ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子ども・子育て支援法と市条例について 2 災害対策について 3 社会保障・税番号制度システム整備事業の問題点について 4 北陸新幹線延伸について 	<p>⑯ 石丸 浜夫 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 津波対策について 2 越前海岸の環境整備と観光誘客について
<p>⑰ 伊藤 洋一 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 休日・夜間における本市の防災体制について 2 公共施設等総合管理計画について 3 姉妹都市米国フラトン市のいわゆる従軍慰安婦像設置等について 	<p>⑱ 玉村 正人 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幼稚園教育について 2 福井市の人口減少対策について 	<p>⑲ 堀江 廣海 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少時代のまちづくりについて
<p>⑳ 泉 和弥 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市老人保健福祉計画・福井市介護保険事業計画と介護サービスの質の向上について 	<p>㉑ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 集団的自衛権容認と自衛官募集について 2 税金滞納者への対応と差し押さえについて 3 子ども医療費助成制度の窓口無料化について 4 広域路線バスと観光客のバス利用促進について 	<p>㉒ 皆川 信正 (政友会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通・まちづくりについて 2 姉妹都市米国フラトン市について 3 指定管理者制度について 4 防災、タイムラインについて

一般質問要旨



みやざき やすまる

宮崎 弥磨 議員

志政会

人口減少社会を迎える福井市のまちづくり

質問

福井市の人口は二、三十年後に約20万2千人に減少すると予測され、少子高齢化がますます進展する中で、本市のまちづくりの基本的な考え方と対策はどのようなものか。
 また、道路整備について、特に橋南地域のフェニックス通りの拡幅の必要性をどのように考えているのか。

回答

人口減少問題は危機意識を持った対応が急務であるとの考えから、全庁的に取り組むために、福井市人口減少対策本部を9月に設置し、現在課題や対策を検討している。
 また、フェニックス通りは渋滞解消のために拡幅が必要であると認識しており、これまでも県に対し毎年行ってきた早期整備の要望を今後さらに強く行っていく。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
—真会

足羽山公園の安全対策について

質問

市民の憩いの場である足羽山公園は、道路破損による危険箇所が見られる。また、公園灯の増設も必要である。市民、観光客、子どもたちが安全に散歩し、森林浴を楽しんだり学習したりできるように、複数年の計画で、完全な修復、整備が必要ではないか。

回答

園内の道路の危険箇所については、利用者と一緒点検を行い、箇所ごとに整備方法を検討する。その上で整備計画を策定し、平成27年度から順次改修に着手する。そのほか、路肩への盛土による歩行スペースの確保や通行車両に最徐行をお願いする看板等の設置により、散策者の安全を確保する。また、公園灯の増設についても、早朝や夕暮れ時の散策に配慮し計画していく。



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

放課後児童クラブについて

質問

この定例会で、児童クラブを7小学校区で新設し、2小学校区で拡張するための3,800万円の補正予算が組まれているが、来年4月に小学校6年生までの希望者全員の受け入れが可能なのか。希望者が予定人数を超えた場合はどう対処するのか。また、放課後児童支援員を含め、人員を確保できるのか。

回答

新設、拡張する9つの小学校区は、昨年度実施したニーズ調査の結果を基に定員を合計300人増やすもので、十分な受け入れができると考えている。その他の小学校区で希望者が予測を上回る場合は、定員を一時的に弾力化して受け入れる。放課後児童支援員等の人員は、各地区と協力し、市の新しい基準に該当する方に声掛けするなどして、確保に努める。



よした きんいち
吉田 琴一 議員
政友会

原子力災害対策について

質問

県は原発事故が起こった際の住民の広域避難について、スクリーニング及び除染を行う候補地28カ所を公表し、二段階避難を示した。本市として避難ルートの追加やスクリーニング及び除染箇所を増やす考えはあるのか。また、二段階避難について市民への周知をはじめどう対応するのか。

回答

さらに、原子力発電所から30km圏に標識やマーカーキングによる周知をしてはどうか。県と連携し、避難ルートの多ルート化を検討し、スクリーニング及び除染場所候補地の追加を検討する。二段階避難についてはパンフレットの配布や研修会等で啓発し、本市の避難計画にも明記する。30km圏の表示については他自治体の状況を参考に、県や当該地域と協議していく。



しもばた けんじ
下畑 健二 議員
公明党

学校の統廃合について

質問

政府は、小・中学校の統廃合に関する指針を見直し、学校再編による規模拡大を後押しする方針を固めている。本市は学校の統廃合について、本年度策定する「福井市施設マネジメント計画」にどのように反映するのか。

回答

計画の策定にあたり、延床面積で本市の公共施設の4割以上を占める学校施設のあり方は、重要だと認識している。また、学校は教育の場であると同時に、地域のコミュニティの拠点でもあり、災害時は避難場所となるなど、役割は年々重要になってきている。そのため、計画では、施設の長寿命化及び他の公共施設との複合化を柱に活用を検討するが、地域の拠点施設の役割を考慮した上で、統廃合についても検討する。



しまかわ ゆみこ
島川 由美子 議員
公明党

命をつなぐAEDの活用推進について

質問

市内のAEDの設置は進んでいるが、夜間や休日を使用できない施設に設置されている場合が多いため、使えないことが考えられる。24時間、365日営業しているコンビニエンスストアにAED設置を依頼することを考えてはどうか。

回答

現在、本市及び県内の各市町においては、いずれもコンビニエンスストアにAEDは設置されていないが、全国的には12自治体が設置していることから、今後、状況を調査研究するとともに、コンビニエンスストア各社に対してAEDを設置してもらえるよう要請していきたい。





にしもと けいいち

西本 恵一 議員

公明党

子どもの貧困対策について

質問

現在、貧困世帯の子どもの約6人に1人となっている。子どもの将来が生まれ育った環境で左右されない社会を実現するため、まずは課題のある子どもの発見に努める体制を作るべきと考えるが、どのように取り組んでいるのか。

回答

新生児訪問や乳児全戸訪問による成育状況の確認や、保育園での保育士との関わり等の中で子どもの状況を把握しているほか、保育料算定や就学援助、生活保護の際の所得の確認などにおいて世帯の経済状況を把握し、必要な配慮等を行っている。しかし、市全体での情報共有ができていないことから、今後は関係部署が連携して、経済的に恵まれない子どもが健やかに育つ体制づくりを進めていく。



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

コンベンション機能の強化

質問

コンベンション機能の強化は、激しさを増す都市間競争においてしつかりと取り組むべきと考える。本市のコンベンション政策の現状及び観光施設等と連携しながら滞在してもらうための仕組みについてどのように考えているのか。

回答

現在、コンベンション開催については、福井観光コンベンションビューローを窓口として支援を行い、支援対象も拡大しながら開催促進に努めている。また、参加者には、福井市をはじめ県内各市町の観光文化施設等の割引クーポンのついたパンフレット「ぶらっと福井」を提供している。今後も、大学や研究機関といった主催者側の意見を取り入れつつ、関係機関が一体となり、滞在してもらええる仕組みづくりを考えていく。



あおき みきお

青木 幹雄 議員

志政会

人・農地プランについて

質問

本市には、平地、中山間地、砂丘地等、さまざまな農地が存在する。農家の話し合いを基本として、人・農地プランを作成中だが、国の支援が平成27年度までとの状況の中、農業所得の向上に係る現状はどうか。また、本年より創設された日本型直接支払制度はどう位置づけられているのか。

回答

人・農地プランに基づく農地の集積・集約による生産性の向上や付加価値の高い園芸生産の導入、6次産業化の取り組みが農業所得の向上につながることを考えている。また、人・農地プランの推進により、効率化が図られる一方、土地持ち非農家の増加などにより、農業の多面的機能を維持する地域活動の低迷が懸念されるため、日本型直接支払制度を活用した支援を行っている。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

保育園の途中入所と保育士の採用について

質問

保育園の途中入所は2カ月前からしか申し込みができず、保護者から苦情が多く寄せられている。保育園の10月の一斉入所を可能とするために、正規保育士の採用を4月だけではなく、10月にも行つてはどうか。

回答

保育士の採用については、翌年度に必要な職員数を調査した上で作成した職員配置計画に基づいて採用数を決定し、4月に行っているが、年度途中の保育士需要の増加については、正規職員である育児休業代替任期付保育士及び非常勤保育士を採用することにより弾力的に対応し、保育業務の停滞を招かないよう努める。



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

志政会

えちぜん鉄道の新駅整備について

質問

平成27年度の国の概算要求に、えちぜん鉄道三国芦原線の新駅を町屋地区に設置する補助事業が盛り込まれた。新駅の需要予測等が必要だと思うが、地元住民に対してアンケート調査等を行ったのか。また、今後どのように事業を進めていくのか。

回答

福井大学地域交通計画研究室やえちぜん鉄道と連携し、アンケート調査を実施した。調査の結果を基に新駅開業がもたらす影響や効果に関する報告書を作成し、公民館長や地区自治会連合会長に説明した。今後は、えちぜん鉄道活性化連携協議会に具体的な事業の進め方の了解を得てから、えちぜん鉄道が新駅の詳細設計や認可申請を行い、平成27年度末の完成を目指す。

福井市環境学習プログラム



たなか よしのり

議員 田中 義乃

一真会

質問

環境問題に対する啓発活動や環境教育は各自治体や企業の中で進められているが、今年4月に策定された「福井市環境学習プログラム」の目的、概要はどのようなものか。

回答

目的は一人ひとりが自然環境や資源の有限性、地域の将来性など、さまざまな分野とのつながりを認識し、持続可能な社会の実現に向けて自らの考えをもって行動できる人材を育成することである。

概要としては、具体例として鷹巣幼小中学校が実施している海水浴場のごみ拾いや、安居小・中学校が行う合同清掃活動があげられる。コミュニケーションを図りながらこうした活動に取り組むことにより、責任感や連帯感を高め、リーダー性や主体性等を身につけさせるものである。

防災対応について



ふじた さとし

議員 藤田 諭

志政会

質問

本市の避難準備情報発令に対する考え方や、その情報伝達手段はどのようなものか。

また、土砂災害現場において消防職員や消防団員はどのような活動を行い、活動中の二次災害防止のための対策はどのように行うのか。

回答

避難準備情報については、早めに判断を行い、安全に避難できるよう運用していく。伝達方法については、防災行政無線、防災情報メール等の活用や、地区自治会連合会長等への電話連絡を行っている。

土砂災害現場では消防職員や消防団員が一体となり、人命救助を最優先とした救助活動を行う。二次災害防止のため、警戒監視員の複数配置や、警察等の関係機関と連携を密にして危険情報の収集と伝達を行うなど適切な対策を行う。

人口減少に伴う自治体削減対策について



ことう ひろゆき

議員 後藤 裕幸

志政会

質問

少子高齢化が進む中で、福井市は出生率が現在1.6まで上昇してきた。2040年には、人口が1万人以下になる523の自治体は消滅の可能性が特に高いと予想されているが、本市の人口減少対策は。

回答

若者の定住策として、働く場の確保が必要であり、情報紹介サイトやフェイスブック等を活用して、市内企業の概要、求人情報等の発信や、県内出身の学生が多い近隣府県の大学を訪問し、就職支援担当者へのUターン就職支援策のPRなどを行っている。

また、結婚や子育てへの支援策として、若年夫婦や子育て世帯に対する家賃補助、ボランティア活動を通じた男女の出会いの場の提供、待機児童ゼロの継続等を行っている。

子ども・子育て支援法と市条例の問題点は



にしむら きみこ

議員 西村 公子

日本共産党議員団

質問

子ども・子育て支援新制度の下では、保育料や実費徴収が増えるのではないかと。また、障害児や被虐待児等の受け入れが制限されるのではないかと。

幼保連携型認定こども園の幼稚園と保育部で在園時間に開きがあり、保育内容の一貫性が図れないのではないかと。

回答

新制度の下で、幼稚園の保育料は保護者の所得に応じたものとなるが、現行の水準と国が示す仮水準を比較し決定する。実費徴収での低所得者の負担軽減は、国から軽減策が示されれば、国が示す内容を把握し、子どもが不当な扱いを受けないよう施設に指導する。

また、幼稚園と保育部の共通の時間における教育、保育内容を工夫し、一貫性を確保する。

越前海岸の環境整備と観光客について



いしまる はまお

議員 石丸 浜夫

志政会

質問

国道305号沿いの亀島周辺の風景はすばらしく、景観を築むための視点場整備などを含めた観光環境づくりを検討すべきではないかと。

また、西口再開発ビル内で越前海岸の観光PRを行う際の支援制度を設けるなど、地元のがんばろうと思える施策を実施できないか。

回答

越前海岸一帯には現在視点場や園地などが整備され、風景を十分に楽しめるようになっており、今後これら環境維持に努めたい。

屋根つき広場は、観光PR活動で利用する場合は料金の減免を行う。また、ビル内の観光物産館では各地域の農産物や工芸品の販売を予定しており、これらによって情報発信、観光誘客を図りたい。



いとう よういち

伊藤 洋一 議員

志政会

姉妹都市フラトン市における「慰安婦像」設置について

質問

米国フラトン市議会では8月19日にいわゆる従軍慰安婦像を同市博物館敷地内に設置する議案が可決されたほか、従軍慰安婦について日本政府に謝罪と教育を求める内容の米国下院121号決議への支持も承認された。自治体同士の国際交流はお互いに尊重し合える関係が基本となるべきだが、今後の対応をどのように考えているのか。

回答

市長名でフラトン市長ら宛てに親書を送付し、特定の国や民族の差別を助長する表現は認めない立場であること、像がこの立場に反するものなら設置に強く反対することを伝えた。国際交流は理性的な態度で相互理解を深めることが肝要であり、基本的にはこれまでの友好関係を保ちたい。



たまむら まさと

玉村 正人 議員

市民クラブ

来年度からの市立幼稚園はどのようになるのか

質問

公立幼稚園の保育料を子ども子育て支援新制度における新しい基準にすることで園児が激減するおそれがあるが、新基準は導入するのか。園児減少への対応はどうするのか。また、小学校教育との連携は今後どのように進めるのか。

回答

公立幼稚園も新制度の対象となり、保育料は保育所や私立幼稚園等と整合性を図りながら設定することになる。園児の激減は今のところ想定していない。小学校教育との連携は、これまでの施策に加え、今後はすべての小学校区で私立・公立保育園の保育士、幼稚園教諭と小学校教員との交流研修を行う予定であり、それを基に連携のためのカリキュラム等を作成し、平成27年度から実施したい。



ほりえ ひろみ

堀江 廣海 議員

一真会

人口減少時代における社会基盤について

質問

少子化によって教育の質を確保する上で必要な子ども数や学級数を維持できない学校が増え、政府は小・中学校の統廃合に関する指針を見直し、再編による規模拡大を進める方針を固めたが、今後の少子化時代において、確保すべき教育の質、目指すべき教育とはどのようなものか。

回答

生きる力を育むため、知育・徳育・体育の質を確保することが大切であり、中でも豊かな人間性を育む徳育が重要である。従って、何事にも失敗を恐れず、自分の意思で目標に向かってチャレンジし、それらの経験を糧として、自分に自信を持って常に成長できるたくましい人間に育てることが今後目指すべき教育のあり方であると考えている。



いずみ かずや

泉 和弥 議員

一真会

次期介護保険事業計画における人材確保

質問

本市の介護保険事業計画には介護従事者の人材確保に関する項目は含まれていないが、今後も市が整備の補助や指導を行う事業所が増えていく中、適正な介護サービスの確保と並んで、介護従事者の定着促進を図ることが大切ではないか。

回答

介護人材の確保策については、県の介護保険事業支援計画に基づき、介護労働のイメージアップや職場環境の改善による定着促進等を柱に行われている。本市としては、県による介護人材の確保策に協力するとともに、職場環境の改善につながる研修会の開催や、介護の仕事のイメージアップにつながる情報発信などの独自の支援策について、介護サービス事業者連絡会と連携して取り組んでいく。



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

子ども医療費助成制度の窓口無料化について

質問

市民サービスの向上を図るため、子ども医療費助成制度の窓口無料化を行うべきではないか。

また、窓口無料化を実施した場合、現在福井市が医療機関に支払っている年間約4,000万円の事務手数料を大幅に削減でき、財政的にもメリットがあるのではないか。

回答

窓口無料化を実施した場合、国民健康保険事業において、国から市に交付される調整交付金が減額される制度となっているため、まずは国が制度改正を行うよう、全国市長会を通して要望している。また、市が医療機関に支払っている事務手数料の取り扱いについては、医師会との協議等によることから、減額につながることは限らない。



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
政友会

防災避難の新指針「タイムライン」の導入について

質問

防災のタイムラインは、台風や梅雨、秋雨、大雪等による被害が想定される場合を見越して、国土交通省や気象庁、自治体、警察、交通機関等と住民が一つの情報を共有し、「いつ、誰が、何を」するのかを時系列で定め、迷わず予定に沿って防災、避難を進めるもので、日本では山口県防府市がすでに国土交通省と連携し進めている。本市で導入する考えはあるのか。

回答

本市では、九頭竜川洪水予報区間における台風の接近や上陸に伴う洪水を対象としたタイムラインについて、福井河川国道事務所と原案の策定に向けた協議を行っているところであり、今後のタイムラインの導入に向けて積極的に検討を行っていく。

予算特別委員会

主な内容を紹介します。

志政会

加藤 貞信 野嶋 祐記
青木 幹雄 石丸 浜夫
峯田 信一

競輪事業

来春初めて本県出身の女子競輪選手が誕生する予定だが、本市でもガールズケイリンを開催してはどうか。また、デビュー戦を福井競輪場で実施できないか。

来年度からのガールズケイリン導入について、検討を進める。福井競輪場でデビュー戦が実施できれば、大いに盛り上がる良い機会と考えている。

中心市街地の活性化

福井市はどのような中心市街地を目指すのか。

北陸新幹線の金沢開業など、高速交通体系の整備により都市間競争がさらに激しくなっているため、歴史や食、教育などを最大限に生かすなど、市民、市民団体、企業、行政それぞれの強みを生かし、対等な立

場で連携、協働しながら、さまざまな面で相乗効果を生み出すことで、魅力ある元気な中心市街地を目指したい。

本市の行政改革

行政運営はプライマリーバランスや将来予測を踏まえて行うことが基本だと考えるが、行政改革の目指すところは何か。今後の方向性は。

時代の変化に対応した公共サービスの見直しや健全財政の維持、行政運営の効率化に視点を置き、市民サービスの向上を目指している。健全財政を維持しながら多様化する市民ニーズに対応するため、今後

も必要な取り組みを考えていく。

人口減少対策

市の2040年の人口は、2010年と比較して約5万人減少すると推計されているが、福井市独自の施策は。

第六次福井市総合計画の中で人口減少社会を見据えて、子育てや教育環境の充実、

住環境の整備、産業振興、市街地活性化などの分野で、住み続けたい、住んでみたいと思える施策を継続して実施している。また、人口減少対策本部を設置し、部局横断的な視点で各施策の検討を行いながら、今後、新しい施策も考えていきたい。

一真会

谷口 健次 堀江 廣海
泉 和弥 田中 義乃

生涯スポーツの推進

スポーツの推進や各競技の普及、競技レベルの向上を図る上で、指導者の確保が最重要課題と考えるが、指導者の育成やスポーツ団体の育成支援にどのように取り組むのか。

現在は、市体育協会の競技加盟団体等により指導者の研修会などにより指導者のレベルアップを図っており、今後の指導者育成については各競技団体等と協力しながら進めていく。生涯スポーツを推進する上では、各団体と協働した取り組みが必要であるため、今後も継続した支援を行っていく。

人材育成

設計業務を外部に委託することが多くなっているが、広域的な災害によって業者に委託できなくなった場合に、

現在の職員で対応できるのか。

技術職員の基礎知識の習得、技術力の向上を図るため、各種の研修会を行っている。災害対策としては、職員を被災地自治体に派遣し、派遣後は報告会を開催して災害現場での現状の把握や課題の解決策について情報を共有している。今年度は東日本大震災で被災した自治体の職員を講師に招いて講演会を開くなど、人材育成のためのさまざまな取り組みを進めている。

福井駅西口整備と恐竜

県が福井駅前に恐竜の壁画やモニュメントを設置することを受け、市でも西口駅前広場や西口再開発ビルの整備等において恐竜に特化し、相乗効果を図るべきではないか。

西口駅前広場や西口再開発ビルは、福井駅西口全体空間デザイン専門家会議で決定されたデザインやレイアウトにより整備を進めており、全体のデザインを踏まえると、恐竜に特化した整備はふさわしくないと考えるが、恐竜に関しては自然史博物館分館での上映や展示内容、観光物産館での物販などにおいて、指定管理者の提案も踏まえて検討していきたい。

○通学路交通安全プログラム

問 合同点検は市内を2つのブロックに分け、隔年で実施することとなっているが、なぜ全市域で毎年実施しないのか。

答 小・中学校の通学路が相当地域に及ぶことから、効果的で十分な点検を実施するために、警察署の管轄地域により市内を2つのブロックに分けて隔年で実施していくこととした。合同点検以外でもPTAや青少年育成福井市民会議の一点検で要望があった箇所については、そのつど確認して対応していく。

市民クラブ

玉村 正人 中村 綾菜

○幼稚園教育

問 来年度からの子ども子育て支援新制度施行により公立幼稚園の保育料の基準が見直されると、幼稚園への入園希望者の多くが保育園に流れ、地域に根ざした幼児教育の拠点として存続できなくなることが危惧されるが、その対策は。

答 保護者に対しては園児募集の際に、保育料の基準が変わる旨を説明し、理解を求めていくが、仮に園児数が少なくなっても少人数教育を行う。また、親の就労状況に関係なく教育が受けられるよう公立の認

定子ども園についても検討する。

○誘客のための旅行商品

問 市の観光拠点である一乗谷まちなか、越前海岸を旅行会社にPRし、連携してツアー商品を作っていくとのことだが、どのような商品が開発されているか追跡すべきではないか。

答 旅行会社が作る旅行商品の追跡調査は十分可能であり、今後も観光地をPRし、営業活動に取り組みたい。

政友会

吉田 琴一 田村 勝則

○旧中藤小学校プールの活用

問 閉鎖した三秀プールのかわりに幼児用プールとして活用してはどうか。

答 幼児用プールはプールフロアを設置して利用している小学校もあるため、旧中藤小学校のプールは消防水利として活用したい。

○ガラガラ山総合公園再整備

問 温泉施設を建設すれば、利用者の増加につながるのではないか。

答 温泉施設の建設は予定していないが、ログキャビンへの温泉の配湯やシャワー室のあるサニタリー棟の建設を計

画している。

公明党

下畑 健一

○雨水流出抑制対策

問 田んぼダムは、簡単な仕組みで費用もあまりかからず、治水対策として効果が高いが、本市で取り組む考えは。

答 多くの事業費と年数を要する河川改修等に比べて効果があると考え、農家の協力が必要な部分もあるため、土地改良区や農家組合と協議しながら、他市の事例や取り組みを参考に検討を進めたい。

日本共産党議員団

鈴木 正樹

○マイナンバー制度

問 社会保障番号を導入しているアメリカでは、行政からの情報流出により身分を詐称した犯罪が発生しているが、マイナンバー制度導入で同様の事案は発生しないのか。

答 海外の事例や最高裁の判決も考慮した上で制度設計されている。公務員の守秘義務を守り、着実な運用を行う。



議案等の審議結果

(9月定例会)

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第 55 号議案	平成26年度福井市一般会計補正予算	9月24日	原案可決	●
第 56 号議案	平成26年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	●
第 57 号議案	平成26年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃	〃	●
第 58 号議案	福井市にぎわい交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃	●
第 59 号議案	福井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃	●
第 60 号議案	福井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃	●
第 61 号議案	福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃	〃	
第 62 号議案	福井市自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 63 号議案	福井市手数料徴収条例及び福井市印鑑条例の一部改正について	〃	〃	
第 64 号議案	福井市福祉事務所設置条例及び福井市母子家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第 65 号議案	福井市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	〃	〃	
第 66 号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	〃	〃	
第 67 号議案	福井市自然史博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第 68 号議案	中央公園野外ステージ施設使用条例の廃止について	〃	〃	
第 69 号議案	工事請負契約の締結について(東安居団地C棟新築工事)	〃	〃	●
第 70 号議案	工事請負契約の締結について(東安居団地C棟新築給排水衛生設備工事)	〃	〃	
第 71 号議案	工事請負契約の締結について(消防救急無線デジタル化工事)	〃	〃	●
第 72 号議案	工事請負契約の締結について(市体育館サブアリーナ新築工事)	〃	〃	●
第 73 号議案	財産の取得について(防火衣一式)	〃	〃	
第 74 号議案	財産の取得について(高規格救急車)	〃	〃	●

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第 75 号議案	財産の取得について(泡原液搬送車)	9月24日	原案可決	●
第 76 号議案	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	〃	〃	●
第 77 号議案	財産の取得について(軽デッキパン消防車)	〃	〃	●
第 78 号議案	財産の取得について(消防救急デジタル無線装置)	〃	〃	●
第 79 号議案	市道の路線の廃止について	〃	〃	
第 80 号議案	市道の路線の認定について	〃	〃	
第 81 号議案	字の区域の変更について	〃	〃	
第 82 号議案	教育委員会委員の任命について	〃	同意	
第 83 号議案	公平委員会委員の選任について	〃	〃	
第 84 号議案	平成25年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	〃	継続審査	
第 85 号議案	平成25年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第 86 号議案	平成25年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	〃	
第 87 号議案	平成25年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第 29 号報告	専決処分の承認を求めることについて(市道上における負傷事故に係る損害賠償額の決定及び調停の成立について)	〃	承認	
第 30 号報告	債権放棄の報告について	9月2日	受理	
第 31 号報告	専決処分の報告について(立替金請求事件に係る訴訟の和解について)	〃	〃	
第 32 号報告	まちづくり福井株式会社平成25年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 33 号報告	まちづくり福井株式会社平成26年度事業計画に関する報告について	〃	〃	
第 34 号報告	平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月24日	〃	
市会案第 31 号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	〃	原案可決	●
市会案第 32 号	参議院選挙制度改革に対する意見書について	〃	〃	
市会案第 33 号	フラトン市博物館への平和モニュメントの設置に反対する決議について	〃	〃	●

(9月定例会)		請願・陳情等の審議結果		
請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
請願第 22 号	過剰米処理を求める意見書提出について	9月24日	不採択	●
請願第 23 号	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、農業改革についての意見書提出について	〃	〃	●
陳情第 17 号	労働者保護ルール改悪反対を求める意見書提出について	〃	継続審査	
陳情第 19 号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	〃	採択	●

賛否が分かれた議案一覧

賛…賛成 反…反対
 ※原則議長(今村辰和)は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	志政会										一真会					市民クラブ				公明党		政友会		日本共産党員団								
		加藤貞信	山口清盛	宮崎弥麿	野嶋祐記	青木幹雄	石丸浜夫	峯田信一	藤田諭	伊藤洋一	後藤裕幸	谷口健次	見谷喜代三	今村辰和	奥島光晴	堀江廣海	谷本忠士	泉和弥	田中義乃	堀川秀樹	村田耕一	片矢修一	玉村正人	中村綾菜	西本恵一	下畑健二	島川由美子	吉田琴一	皆川信正	田村勝則	西村公子	鈴木正樹	
第 55 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 56 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 58 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 59 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 60 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 67 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 69 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 71 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 72 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 74 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 75 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 76 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 77 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
第 78 号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
市会案第31号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
市会案第33号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
請願第 22 号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
請願第 23 号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
陳情第 19 号	採 択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	

9月定例会	
9月2日	本会議
3日	議会運営委員会
8日	本会議
9日	本会議
10日	本会議
11日	総務委員会、建設委員会
12日	教育民生委員会、経済企業委員会
17日	予算特別委員会
18日	予算特別委員会
19日	議会運営委員会、議会改革特別委員会
24日	議員全員協議会、本会議

議会日誌（7～9月）		議長	出席
7月25日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動（大阪市）	○	
29日	議会運営委員会	○	
30日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第160回定例会（あわら市）	○	
31日	全国特例市議会議長会総会（明石市）	○	
8月5日	福井駅周辺整備・道路・河川事業要望活動（東京都）	○	
8月11日	福井県市議会議長会定期総会	○	
8月18日	北信越市議会議長会理事会	○	
8月19日	議会改革特別委員会	○	
8月20日	公共交通・まちづくり対策特別委員会	○	
8月21日	産業活性化対策特別委員会	○	
8月26日	議員全員協議会、議会運営委員会	○	

編集後記

今回のふくい市議会だよりは、いかがだったでしょうか。「一般質問要旨」では、質問した議員自らが執筆し、限られた文字数の中で特に皆様にお伝えしたい事柄を掲載しています。また、市議会だより編集委員会としても、市民により親しみやすく、わかりやすい紙面を目指して編集作業を行っておりますので、どんな事でもお気づきの点がありましたらご意見をお寄せください。（泉、田中）

インターネット中継を実施しています

福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、YouTube（ユーチューブ）のインターネットストリーミングサービスを利用した録画放送の配信を行っています。傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

中継する会議

本会議 各常任委員会 各特別委員会

※インターネット中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課

☎076-201-5510

傍聴できる会議

- 本会議（席数 91席、車イス用 6席）
- 常任委員会（総務、建設、教育民生、経済企業）
- 議会運営委員会
- 特別委員会（予算、産業活性化対策、議会改革、公共交通・まちづくり対策、議員全員協議会）

次回は12月定例会です

（日程が決まり次第ホームページページでお知らせします）

傍聴してみませんか

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回（3・6・9・12月）開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

なお、本会議、予算特別委員会の模様はケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。